

## 教科の概要（英語）

### I. 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### II. 観点別評価の規準と基準

|   |   | 規 準   |  |               |
|---|---|---|--|---------------|
|   |   | 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度 |
| A | 十分満足できる   |   |  |               |
|   | 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて <b>適切</b> に活用できる技能を身につける。 <b>【概ね達成率 80%以上】</b> | コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常及び社会的な話題について、英語で情報や考えなどの要点、詳細、話し手や書き手の意図を <b>的確</b> に理解したり、これらを活用して <b>適切</b> に表現したり伝え合ったりする。 <b>【概ね達成率 80%以上】</b> | 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、 <b>主体的、自律的に</b> 英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 <b>【概ね達成率 80%以上】</b><br>※ 主体的: 未知なることに自ら取り組む態度<br>※ 自主的: 与えられたことに積極的に取り組む態度 |               |
| B | おおむね満足できる   |   |  |               |
|   | 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて活用できる技能を身につける。 <b>【概ね達成率 35%以上】</b>             | コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常及び社会的な話題について、英語で情報や考えなどの要点、詳細、話し手や書き手の意図を理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりする。 <b>【概ね達成率 35%以上】</b>                         | 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 <b>【概ね達成率 35%以上】</b>   |               |
| C | 努力を要する  |   |  |               |
|   | 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解をさらに深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて活用できる技能を身につける必要がある。                          | コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常及び社会的な話題について、英語で情報や考えなどの要点、詳細、話し手や書き手の意図を理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりする必要がある。   | 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う必要がある。   |               |

(別表4)

## I 授業の概要

|       |                                     |    |              |     |   |    |      |
|-------|-------------------------------------|----|--------------|-----|---|----|------|
| 教科    | 外国語                                 | 科目 | 英語コミュニケーションⅡ | 単位数 | 4 | 年次 | 2 学年 |
| 使用教科書 | Blue Marble English Communication Ⅱ |    |              |     |   |    |      |
| 副教材等  | なし                                  |    |              |     |   |    |      |

### 1. 学習の目標

(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする。

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

### 2. 3 観点の評価規準

| 規 準   |   |   |
|---|---|---|
| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
| 外国語の5つの領域(聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを深く理解している。 | 場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考え、気持ちなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを理由や根拠とともに詳しく話したり書いたりして表現している。 | 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを理由や根拠とともに話したり書いたりして表現しようとしている。言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |
| 上記の規準に対して、「十分満足できる」場合はA、「おおむね満足できる」場合はB、「努力を要する」場合はCとして評価する   |   |   |
| 評 価 方 法   |   |   |
| 定期テスト、週テストなど。   | 定期テスト、週テスト、パフォーマンステストなど。  | 授業の臨む姿勢や自己振り返り、プレゼンテーションや主体的な取り組み   |

### 1. 学習内容

|      |   |
|------|---|
| 1 学期 | Lesson 1: Leadership in Modern Times<br>Lesson 2: The Diversity of Traditional Houses<br>Lesson 3: Improving Society with Avatar Robots   |
| 2 学期 | Lesson 4: Approaches to Food Waste<br>Lesson 5: Animals as Indispensable Partners<br>Lesson 6: An Irish Poet on a Mission<br>Lesson 7: Be Free from Gender Bias<br>Lesson 8: The Diminutive Giant Who Fought for Refugees |
| 3 学期 | Lesson 9: Tackling Global Warming<br>Lesson 10: Keys to Finding Happiness   |

### 2. 学習方法

|   |
|---|
| プリントを用いて授業を行います。本文を聞いたたり読んだりして理解し、その内容に対して自分の意見を英語で表現し、ペア・グループやクラス全体で意見交換する活動が主になります。 |
| 単語の週テストも行われます。  |

(別表4)

### III. 授業の概要

|       |   |    |        |     |   |    |   |
|-------|---|----|--------|-----|---|----|---|
| 教科    | 外国語   | 科目 | 論理・表現Ⅱ | 単位数 | 2 | 年次 | 2 |
| 使用教科書 | NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ(東京書籍) |    |        |     |   |    |   |
| 副教材等  |   |    |        |     |   |    |   |

#### 3. 学習の目標

- 1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

#### 4. 3観点の評価規準

| 規 準  |  |  |
|--|--|--|
| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
| ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。<br>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用し、効果的に伝えることができる技能を身に付けている。 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、学校外での生活や地域社会などの日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いて自分の考えや気持ちなどを適切な理由や根拠とともに詳しく伝えようとしている。 |
| 上記の規準に対して、「十分満足できる」場合はA、「おおむね満足できる」場合はB、「努力を要する」場合はCとして評価する  |  |  |
| 評 価 方 法  |  |  |
| 定期テスト、単元テスト、レポート等  | 定期テスト、単元テスト、レポート、プレゼンテーション等  | 授業の臨む姿勢や自己振り返り、プレゼンテーションや主体的な取り組み  |

#### 5. 学習内容

|             |                |
|-------------|----------------|
| 1<br>学<br>期 | Unit1 Lesson 1 |
|             | Lesson 2       |
|             | Lesson 3       |
|             | Lesson 4       |
| 2<br>学<br>期 | Unit1 Lesson 5 |
|             | Lesson 6       |
|             | Lesson 7       |
|             | Lesson 8       |

#### 6. 学習方法

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 各 Lesson の予習</li><li>● 各 Lesson の復習</li><li>● プレゼンテーションへの取り組み</li><li>● 授業への積極的参加</li></ul> |
|---|

(別表4)

|             |                 |  |
|-------------|-----------------|--|
|             | Lesson 9        |  |
| 3<br>学<br>期 | Unit1 Lesson 10 |  |
|             | Lesson 11       |  |
|             | Lesson 12       |  |

## I 授業の概要

|       |                                      |    |         |     |   |    |      |
|-------|--------------------------------------|----|---------|-----|---|----|------|
| 教科    | 英語                                   | 科目 | 総合英語 II | 単位数 | 4 | 年次 | 2 学年 |
| 使用教科書 | Blue Marble English Communication II |    |         |     |   |    |      |
| 副教材等  | なし                                   |    |         |     |   |    |      |

### 1. 学習の目標

(1) 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする。

(3) 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

### 2. 3観点の評価規準

| 規 準   |   |   |
|---|---|---|
| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
| 英語の5つの領域（聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる知識・技能を身に付けている。英語の学習を通じて、言語の働きや役割などを深く理解している。 | 場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考え、気持ちなどを英語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを理由や根拠とともに詳しく話したり書いたりして表現している。 | 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、英語で聞いたたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを理由や根拠とともに話したり書いたりして表現しようとしている。言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |
| 上記の規準に対して、「十分満足できる」場合はA、「おおむね満足できる」場合はB、「努力を要する」場合はCとして評価する   |   |   |
| 評 価 方 法   |   |   |
| 定期テスト、週テストなど。   | 定期テスト、週テスト、パフォーマンステストなど。  | 授業の臨む姿勢や自己振り返り、プレゼンテーションや主体的な取り組み   |

## 7. 学習内容

## 8. 学習方法

(別表4)

|         |   |   |
|---------|---|---|
| 1<br>学期 | Lesson 1: Leadership in Modern Times<br>Lesson 2: The Diversity of Traditional Houses<br>Lesson 3: Improving Society with Avatar Robots   | <p>プリントを用いて授業を行います。本文を聞いたり読んだりして理解し、その内容に対して自分の意見を英語で表現し、ペア・グループやクラス全体で意見交換する活動が主になります。</p> <p>単語の週テストも行われます。</p> |
| 2<br>学期 | Lesson 4: Approaches to Food Waste<br>Lesson 5: Animals as Indispensable Partners<br>Lesson 6: An Irish Poet on a Mission<br>Lesson 7: Be Free from Gender Bias<br>Lesson 8: The Diminutive Giant Who Fought for Refugees |   |
| 3<br>学期 | Lesson 9: Tackling Global Warming<br>Lesson 10: Keys to Finding Happiness   |   |

## I 授業の概要

|       |  |    |                 |     |   |    |      |
|-------|--|----|-----------------|-----|---|----|------|
| 教科    | 英語   | 科目 | ディベート・ディスカッションⅡ | 単位数 | 2 | 年次 | 2 学年 |
| 使用教科書 | GLOBAL ISSUES - An Introduction to Discussion Skills - |    |                 |     |   |    |      |
| 副教材等  | なし   |    |                 |     |   |    |      |

### 1. 学習の目標

- (1) 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする。
- (3) 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

### 2. 3 観点の評価規準

| 規 準   |  |   |
|---|--|---|
| 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
| 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報を整理し、要点や意図、論理の展開などを明確にしながら、英語で適切に表現したり伝え合ったりする。 | 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 |
| 上記の規準に対して、「十分満足できる」場合はA、「おおむね満足できる」場合はB、「努力を要する」場合はCとして評価する                                 |  |   |
| 評 価 方 法   |  |   |
| 定期テスト、週テストなど。   | 定期テスト、週テスト、パフォーマンステストなど。   | 授業の臨む姿勢や自己振り返り、プレゼンテーションや主体的な取り組み   |

(別表4)

### 9. 学習内容

|         |  |
|---------|--|
| 1<br>学期 | Unit 9: How to support your opinion<br>Unit 10: How to check your understanding<br>Unit 11: How to lead a discussion<br>Group Presentation, Class Discussion |
| 2<br>学期 | Unit 12: How to discuss the pros and cons<br>Unit 13: How to discuss both sides<br>Group Presentation, Class Discussion, Class Forum                         |
| 3<br>学期 | Unit 14: How to interrupt politely<br>Unit 15: How to summarize a discussion<br>Acting & Performance Project   |

### 10. 学習方法

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各レッスンにディスカッションあり。</li> <li>● パフォーマンス評価（ライティング・スピーキング）</li> <li>● 毎学期1つのプロジェクトがあり。</li> <li>● 授業態度（クラスでの貢献度、積極的な発言など）も評価対象。</li> </ul> |
|--|

## IV. 授業の概要

|       |   |    |               |     |   |    |   |
|-------|---|----|---------------|-----|---|----|---|
| 教科    | 英語  | 科目 | エッセイ・ライティング I | 単位数 | 2 | 年次 | 2 |
| 使用教科書 | NEW FAVORITE English Logic and Expression II (東京書籍) |    |               |     |   |    |   |
| 副教材等  |   |    |               |     |   |    |   |

### 11. 学習の目標

- 1) 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 3) 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

### 12. 3観点の評価規準

| 規 準  |   |  |
|--|---|--|
| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・ 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用し、効果的に伝えることができる技能を身に付けている。</li> </ul> | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、学校外での生活や地域社会などの日常的话题や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図のなどを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 | 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて自分の考えや気持ちなどを適切な理由や根拠とともに詳しく伝えようとしている。 |

(別表4)

|   |                                |                                    |
|---|--------------------------------|------------------------------------|
| 上記の規準に対して、「十分満足できる」場合はA, 「おおむね満足できる」場合はB, 「努力を要する」場合はCとして評価する |                                |                                    |
| 評 価 方 法   |                                |                                    |
| 定期テスト, 単元テスト, レポート等   | 定期テスト, 単元テスト, レポート, プレゼンテーション等 | 授業の臨む姿勢や自己振り返り, プレゼンテーションや主体的な取り組み |

## 13. 学習内容

|             |  |
|-------------|--|
| 1<br>学<br>期 | Unit1 Lesson 1<br>Lesson 2<br>Lesson 3<br>Lesson 4             |
| 2<br>学<br>期 | Unit1 Lesson 5<br>Lesson 6<br>Lesson 7<br>Lesson 8<br>Lesson 9 |
| 3<br>学<br>期 | Unit1 Lesson 10<br>Lesson 11<br>Lesson 12                      |

## 14. 学習方法

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各 Lesson の予習</li> <li>● 各 Lesson の復習</li> <li>● プレゼンテーションへの取り組み</li> <li>● 授業への積極的参加</li> </ul> |
|--|